

平成24(2012)年度 法学研究科博士課程前期2年の課程 入学試験問題(一般選抜)

(科目名)	憲法
第2問 20××年、国会は、エネルギー政策等の重要な政策に関する法律の制定には、国会の議決のほか、国民投票で過半数の賛成を要することを定める国民投票法案を提出した。	
(1) この国民投票法案の合憲性について論じる際に検討が必要な諸課題を列挙した上で、	
そのうちの主要な2つの論点について検討し、私見を述べなさい。	
(2) 違憲審査制の根拠には、憲法保障と人権保障があるといわれている。後者の人権保障	
について、これを裁判所が実現すべきであるとする見解(①)の意義と根拠を明らかにした上	
で、②国民の代表である国会が立法を通じて人権を保障すべきであるとする見解、さらに、	
③主権者である国民が直接に国民投票等を通して人権保障を実現すべきであるとする見解	
について、問題点を比較して論じなさい。	